

ごあいさつ

仙台市議会議員として活動させていただいている16年になります。

この間、市民の皆さまのお役に少しでも立てる事を喜びとして、ただひたむきに全力疾走してきました。

あきらめない！ねばりづよく実現するまで頑張るのが私の信条ですから、これからも、市民の皆さまとともに、住んでよし、訪れてよし、魅力度No.1の元気なまち仙台をつくるために、がんばって行く所存です。

さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●市議会に送っていただいた16年●

佐藤わか子が今まで心がけてきた5ヵ条！

ひとつ 議員になって何をしたいのか常に忘れない。自分の政治哲学、政治理念をつらぬく。

ひとつ 座り心地のいいイスには座らない。

ひとつ 徹底した現場主義でいく。

ひとつ 自分の活動を広く市民に知らせる努力をする。(ホームページ、年2回発行の市議会レポートなどを実施しています。)

ひとつ どんな事でも、すぐやる課の精神でいく。

佐藤わか子

Wakako Sato



プロフィール

1953 青葉区大倉(旧宮城町定義の近く)に生まれる

1971 宮城県第二女子高等学校卒業(23回生)

1999 仙台市議会議員 初当選

2003 仙台市議会議員 二期目当選

2007 仙台市議会議員 三期目当選

2011 仙台市議会議員 四期目当選

現在 仙台市議会健康福祉常任委員会 委員長
東西線・まちづくり促進調査特別委員会 副委員長
NPO法人みどり会 理事長
NPO法人ワンファミリー仙台 副理事長
保護司、そのほか、ボランティア活動多数

現在、青葉区国見在住

家族 夫、娘(ひとり)

趣味 お茶(裏千家・茶名 宗陽)、

ダンス、絵を見ること、歌を歌うこと

好きな言葉 一期一会、継続は力なり、成せばなる

特技 英会話

星座・血液 うお座・B型

佐藤わか子応援団事務所

〒980-0805 仙台市青葉区大手町8-1 ブラントビル大手町2F

☎ 022-722-9626 FAX 022-263-7865

E-mail wakakos@beige.ocn.ne.jp

URL <http://www.satowakako.com>

いつも気どらず自然体
あつたかハートで市民のみかた！



佐藤 わか子

仙台市議会議員(青葉区)



出来る限り、毎議会ごとに質問することを目標に積極的に議会活動に取り組んでいます。
(私の議会での質問は仙台市議会ホームページの議事録で見られます。)

2011年8月、4期目に当選させていただいてから関わらせていただいて実現に結びついた事例の一部を紹介します。

- いろは横丁の下水道整備と女性専用トイレの設置(2012~2013)
サンモール一番町にあるいろは横丁のトイレが、とってもきれいになりましたよ!ぜひ足をお運びください。
- 国見ヶ丘5丁目の坂道にあって危険だったバス停移設と上屋の設置(2011~2012)
- みやぎ台入口の歩行者用信号機設置と歩道の整備(2014~2015)



実現は難しいのですが、今一生懸命取り組んでいる事例

①錦ヶ丘の敬老乗車証について

仙台市北西部の錦ヶ丘団地の公共交通は、民間のバス会社がメインです。この民間バス会社には、カードの読み取り機械が導入されていません。そのため、この地区の70歳すぎの方は、せっかく敬老乗車証をいただいても、その恩恵を受けられない状況にあります。仙台市民であれば、どこに住んでいようと住民サービスは等しく受けられるべきです。民間バス会社の機械導入が難しいのであれば、仙台市として、その代替え案を提示すべきと、4月21日の健康福祉常任委員会で、厳しく追及させていただきました。実現するまで、頑張ります。

②旧熊ヶ根中学校跡地のスポーツ広場のトイレの問題

旧熊ヶ根中学校跡地は、スポーツ広場として、多くの人に利用されています。ここの一一番の問題はトイレです。汲み取り式の男女兼用トイレが一つと、多目的トイレが一つしかありません。今は、多目的トイレを女性専用にしてもらっていますが、あまりにも悲惨な状況です。仙台市は予算が無いの一点張りですが、何か対応策はあるでしょう?と地域の人にも声を挙げてもらながら、厳しく迫っているところです。

燃えるわかちゃん、
あつたか ハートで
仙台を世界一、住みやすくて
子育てしやすいまちにする!!



約束① 新米ママさんの子育て不安を解消する。

そのため取り組むこと!

- 妊娠、出産、産後1年ぐらいうまく切れる目がないトータルの支援をめざす。具体的には、同じ保健師さんにより、相談を受けながら子育てケアプランをつくる。
- 児童館が比較的すいている午前中を利用して、「こんなにちは!赤ちゃんルーム」をつくり、ベテランママさんとの交流の場にする。
- 身近に子育ての相談ができる人がいることで孤立しがちな子育て家庭を支援するため、地域住民が子育て家庭を訪問する「ホームスタート」事業を仙台市でも始める。

約束② 仙台市の保育所待機児童数を減らしていく。

そのため取り組むこと!

- 各区に保育コンシェルジュを配置し、多様な保育を紹介するなど、きめ細かい相談にすることで保育のミスマッチを解消する。
- 事業所内保育所への支援がより充実したことを広くPRし、エリアごとに事業所がまとまって事業所内保育所を開設できるように働きかけていく。
- 3歳児からの連携先の相談に丁寧に対応することで、0、1、2歳児専用の認可保育所を増やしていく。

約束③ 全国でワーストワンと言われている仙台市の不登校児童・生徒数を減少させる。

そのため取り組むこと!

- なぜ仙台は不登校児童・生徒が多いのか、その原因を徹底的に分析する。
- その分析結果により、原因と思われるそれぞれの課題ごとに対策を作る。
- その対策を、具体的に実行していく不登校対策チームを教育局の中に作る。
- 不登校になってしまっている児童・生徒に対する対策だけでなく、不登校を未然に防ぐため、不登校予防に力を入れていく。

おこまり事相談室 仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル3F
TEL.022-266-7577 FAX.022-352-6190 携帯.090-1060-1254

約束④

子供たちが喜んで元気に通える学校にする。
そのため取り組むこと!

- 新人の教職員を指導するために、ちょっと先輩の教職員がメンターになり、チームを組んで、分かる授業づくりなどを教えるメンターチーム制度を、各学校に導入し、風通しの良い職員室をつくり学校を元気にする。
- 教職員の多忙感を無くし、子どもたちと触れ合う時間と心の余裕を作り出す。
- これから仙台市は、教職員数を決められる権限を持つ事になる。この機会に山形県や福島県が導入している少人数学級を、仙台市も導入するよう働きかけていく。

約束⑤

小学校の英語教科化を見据え、
仙台市の英語教育の充実を図る。

そのため取り組むこと!

- 仙台市の英語教育の方針がないので、今後英語教育をどう進めいくのか、そのあり方を決める検討委員会をつくる。
- 小学校の英語教科化を見据え、英語教育を専門に担当する、英語教育推進室をつくる。
- 各区にALTを指導するコーディネーターを配置し、ALTのレベルを上げると共に、ALTの有効活用を図る。
- 各学校に英語サロン、英語キャンプ、小学校の英語スピーチコンテスト、などを開設し、子どもたちが英語を使える喜びを体感してもらう場をつくる。

約束⑥

急速に高齢化・少子化が進んでいる仙台市の北西部の中山間地域の課題解決に挑戦する。

そのため取り組むこと!

- 北西部の観光地、定義山の建物の外観を、郷愁を誘うようなイメージに統一し、観光地としての魅力アップを図る。
- 子どもたちが減少している小学校に特色を持たせて、広くどこからでも入れる特別区の学校にする。例えば小学校1年生から英語の教科化を導入するなどして。
- 中山間地域の農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地が増えていている。耕作放棄地対策を、地元農家の人も巻き込み早急に進めること。

約束⑦

市役所改革を進める。

そのため取り組むこと!

- お役所的発想や前例主義から脱却し、常に市民の目線に立って仕事を進める組織に変える。
- 縦割行政を言い訳にせず、組織横断的に課題を解決する力をつける。
- 予算編成の透明化。
- 事業仕分けなどを実施し、歳出の縮減をはかり、財政の健全化を実現する。